

夏の夜の魅惑の歌声

京都混声合唱団 コンサート

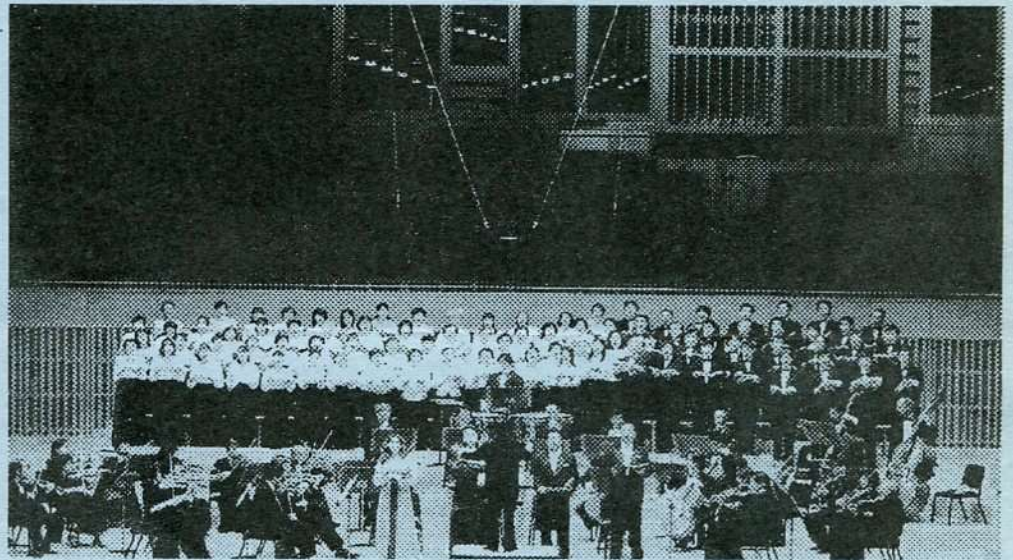
8月25日

(土曜日)

18:30 開場

19:00 開演

養父町
ビバホール



京都混声合唱団



●賛助出演

合唱団セイティブ



主催：養父町・ビバホール企画集団

兵庫県養父郡養父町広谷 250 電話 0796-64-1141 FAX0796-64-1363



入場整理券が必要です。

●プログラム

- § 1ステージ 京都混声合唱団
- 指揮 蔵田 裕行
ピアノ 宮北 昌子
編曲 源田 俊一郎
- 「ふるさとの四季」
- § 2ステージ 合唱団セイティブ
- 指揮 西谷 秀樹
ピアノ 吉田 ひとみ
- 混声合唱曲集「空に、樹に…」より「生きる」
- 作詞 谷川俊太郎
作曲 新実 徳英
- 「瑠璃色の地球」
- 作詞 松本 隆
作曲 平井 夏美
編曲 源田 俊一郎
- 混声合唱曲「季節へのまなざし」より「ゆめみる」
- 作詞 伊藤 海彦
作曲 荻久保 和明
- ◇ミニステージ コール・セラフィム（京都混声合唱団有志）
- 「天使にラブソング」から
- 曲 Hail・Holy・Queen
- ♪♪♪♪♪ 休 憩 ♪♪♪♪♪
- ◇ミニステージ 「斎太郎節」ほか 1曲
- 男声合唱
- § 3ステージ 京都混声合唱団
- 指揮 蔵田 裕行
ピアノ 宮北 昌子
- 「蔵 王」
- 作詞 尾崎 左永子
作曲 佐藤 眞
- § 4ステージ 京都混声合唱団 & 合唱団セイティブ
- 指揮 蔵田 裕行
ピアノ 宮北 昌子
- 「大地讃頌」
- 作詞 大木 惇夫
作曲 佐藤 眞
- オラトリオ「メサイヤ」より「ハレルヤ」
- 作曲 ヘンデル

◆ プロフィール

○ 京都混声合唱団

京都混声合唱団は、昨年創立75周年を迎えた、4分の3世紀という長い歴史を持つ、京都で老舗の合唱団です。

昨年の75周年記念演奏会には、ヘンデルの「メサイヤ」の大曲を、京都市交響楽団と京都市シンフォニーホールで演奏し、大好評を博した。

結成15年頃には、今は亡き関西合唱連盟会長の藤堂顕一郎氏がバスのトップメンバーであったし、東京芸大出身の方が各パートのトップメンバーを努めていた。戦時中、演奏活動は一時停滞したが、戦後再び息を吹き返し、数々の功績を残してきた。

一方、関西各地で今回のようなボランティア活動を行い、合唱の普及と音楽への誘いを目的とした公演を行っている。但馬ではこれで4回になる。一昨年には、波賀町で中学生の合唱指導を兼ねたコンサートを実施している。

蔵田 裕行 (くらたひろゆき) 常任指揮者

広島県に生まれる。父蔵田春平よりヴァイオリンのてほどきを受ける。高校時代、ヴァイオリンを平田正男、林龍作、声楽を林遠次に師事。

1956年 京都市立音楽短期大学声楽科卒業。声楽を伊藤武雄、ピアノを元浜綾子、ヴァイオリンを鞍谷敦子に師事。

1961年 東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。声楽をN・レーヴェ、中山悌一、ピアノを水谷達夫、ヴィオラを井上武士、指揮を山田一雄、田中伸昭に師事。

1965年 東京芸術大学大学院音楽研究科独唱専攻終了。

同年 オーストリア政府政府給付費留学生としてウィーン国立音楽大学に留学
65~68年の間「ウィーンアカデミー室内合唱団」団員。

1987年 藤堂音楽褒賞受賞。

1991年 京都混声合唱団の常任指揮者に就任。

20数回に及ぶリサイタル・ジョイントリサイタルのほか「第九」「メサイア」「マタイ受難曲」等数多くのオラトリオに出演。格調高い演奏に定評があるが、オペラでは「フィガロの結婚」「魔笛」「タンホイザー」等で得難い声楽俳優との評価も得ている。

京都市立芸術大学名誉教授。関西二期会常任理事。日本シューベルト協会常任理事。

ピアニスト 宮北 昌子 (みやきた しょうこ)

京都市立堀川高校音楽科を経て、1986年、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。ピアノを山田淳子、岩淵洋子、マックス・エッガーの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。

1990年ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院夏季国際音楽アカデミーに参加、セルシオ・ペルティカローリ教授の講座を修了。アカデミーコンサートに出演。

○ 合唱団セイティブ

1989年(平成元年)7月29日に初練習を行う。以来、養父町町民センターを拠点に活動を行う。関西合唱コンクールでは常に入賞を果たし、1993年、1995年、1996年、1998年に銅賞、1997年には銀賞を受賞している。

意欲的にコンサートもこなし、但馬合唱祭、ビバホールプロムナードコンサートなどに出演するほか、自らも「Irregular Concert」を開催して、練習の成果を披露している。

現在、メンバーは26人。その若々しいハーモニーには定評がある。

